



南部橋架け替え工事図



ケーシング(管を打ち込み、土砂をハンマクラブ掘削後セメント注入)



武庫川橋左岸上流側の不法占拠ハウス撤去命令出される。



武庫川稲葉荘堤外エノキ剪定作業



4号堰復旧工事始まる



甲武橋下流右岸の樹齢100年の松伐採

南部橋で大口径・大深度掘削する”スーパートップ工法”(オールケーシング工法)で基礎杭打設工事が続いている。工事図から24mの杭が打たれることになっていた。太い管を打ち込み中の土砂をハンマクラブで掻きだし、その後鉄筋コンクリートの杭が打ち込まれる。地下10~20mから掻き出された粘土質の掘削土砂は砂質土砂とは別に積み上げられ、貝殻が混ざりの掘削土砂を見れば、武庫川河口付近の地層が厚い粘土質からできていることが分かる。

近所の叔父さん達が何時の間にか建てた棋・麻雀のテント小屋の前に期限までに除却するよう公示がだされ、難しいことに毅然と対応する行政の頑張りには感激。2号堰に大きな切り株が引っ掛かり、各所に残る倒木が梅雨時に流されてくるのではないかと気がかりになる。倒木は免れても倒木候補の大木が点在しており計画的な除伐も必要だろう。稲葉荘地区で民家の屋根まで枝を伸ばしたエノキ剪定作業が行われていた。伐採した方が良さそうに思う。4号堰石張り表面の復旧工事が始まっていた。石張りは綺麗だが、他の堰も、小さなひび割れが見られ老朽化が進んだのではないかと気になる。甲武橋から仁川に掛けて堤防強化工事に伴い樹齢百年の松が伐採されたが止む得ない犠牲だろう。

